

水嶺湖コテージで癒しのひとときを…。

水嶺湖コテージは、日本昭和音楽村にある宿泊施設です。山小屋風の造りで、室内は、周りの木々の緑や自然光を取り込み、明るく、開放的で、目の前には水嶺湖があり、素晴らしいロケーションです。

水嶺湖コテージは3棟あり、音楽合宿やレジャー、団体での利用のほか、家族や友達、グループの親睦などに利用していただくことができます。

この素晴らしい癒しの空間をぜひご体感ください!



【所在地】

大垣市上石津町下山2011 (日本昭和音楽村内)

【利用申込み】

ご利用日の13か月前から可能。電話(45-3344)での【仮予約】後、2週間以内に【本申請】を行ってください。

☆利用料金、各棟の詳細等は、公式ウェブサイトをご確認ください☆

公式ウェブサイト

日本昭和音楽村

で検索!

<https://www.city.ogaki.lg.jp/ongaku/0000035266.html>

<お問い合わせ> 日本昭和音楽村(TEL 45-3344)



コテージ施設案内

小学校社会科副読本「おおがき」を改訂します

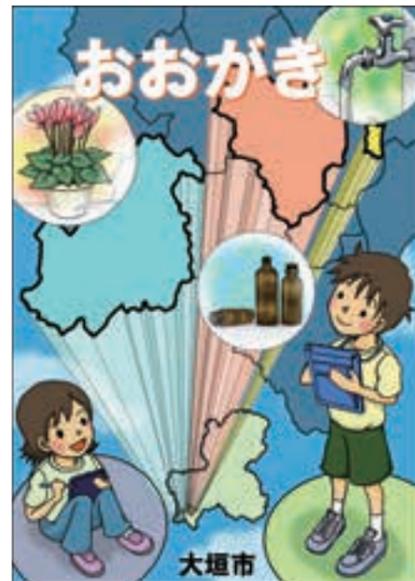
市内小学校3年生および4年生が、社会科の授業で、大垣について学ぶために使用している、市独自の副読本「おおがき」。現在、この副読本の改訂を進めています。

小学校3年生の社会科では、「大垣市の学習」が主となります。しかし、一般的な教科書では市内の具体的な様子に合わせた学習が難しいため、市では、小学校社会科研究会と協力し、地域の实情に即した副読本を作成・活用してきました。

今回の改訂で、掲載されている過去の資料や統計データ、写真を最新のものと修正しています。

完成は令和8年3月を予定しており、令和8年度の授業からは、新しい副読本「おおがき」で小学校3年生、4年生が学習する予定です。

子どもたちが、ふるさと大垣への理解と愛着を一層深められるような授業を目指します。



「大垣市×SDGsお化け」



大垣市教育委員会

〒503-8601 大垣市丸の内2丁目29

TEL(0584)47-8022(直通) FAX(0584)82-6385

Email: kyouikusyomuka@city.ogaki.lg.jp

— 法務省 人権啓発キャッチコピー —

「誰か」のことじゃない。

みんなが学び交わり成長する 文教のまち大垣

大垣市教育委員会だより

はぐくみ

vol.31

発刊
令和8年
2月

子どもが主人公の「未来のすてきな大垣」づくり事業 一大垣市×SDGsお化け

「未来のすてきな大垣」を子どもたちが主役となってつくる「大垣市×SDGsお化け」事業。今回は、「環境保全」や「フードロス」の解決に挑む「大垣市×SDGsお化けバスターズ」の活動や、新たな「大垣市×SDGsお化け」の誕生について紹介します。

「大垣市×SDGsお化けバスターズ」の活動

11月15日、活動報告会が行われ、2つのチームが報告を行いました。

● コイバーチーム(環境保全)

子どもたちが主催し、11月15日に市役所周辺や水門川の清掃活動を実施。自分たちの手で街をきれいにする大切さを発信しました。

11/15 コイバー清掃活動



● イートミーチーム(フードロス削減)

「嫌いなものでも美味しく食べられる」をテーマに、子どもたちが給食メニューを開発。「バ!ヤシライス」「ホクホクころたん」「魚魚!(ギョギョ)っとつみれ汁」の3品が、学校給食として12月より順次提供されることになりました。

12/22 イートミー給食



「大垣市×SDGsお化けを探せ」第2期 優秀作品決定

約600点の応募が市内の小中学生からあり、5作品が優秀作品に選ばれました。



節電すみよしとう台

大垣市全体を見守る節電のお化け。電気のむだ遣いの見張り番をする。電気のむだ遣いをしている人や家を見かけると、こっそりと電気を消したり、必要最小限の明かりに調整する。



アキヤーン

人が住まなくなったため、害虫や害獣が住みついた家のお化け。このお化けが多くなると地域の衛生環境が悪くなる。お化けの悲しみが怒りに変わると、自分を燃やしてしまう。



トマーレー

横断歩道を渡ろうとしている人がいても、止まってくれない車のお化けと、その車に貼りついてブレーキをかけさせようとする、2体のお化け。貼りついたお化けは、そういう車に呪いをかけて走れなくしてしまう。



ベキベキ

人が、「こうあるべき!」という固定観念を押しつけようとするときに現れる。自意識が強く、自分の考えを押し通そうとする非常に厄介なお化け。



タライバイバイ

水まんじゅうとハリヨを守るために、正しく排水管理をするお化け。水を汚している工場や家を、たらい舟に乗せて遠くへ流してしまう。

「大垣市×SDGsお化け」大垣駅自由通路に出現

事業の啓発として、大垣駅南北自由通路への「大垣市×SDGsお化け」の展示がスタートしています。「お化け」という親しみやすい表現を通じて、誰もが地域課題を「自分ごと」として考えるきっかけになればと思います。



学校支援

「7つの不登校対策」を紹介します

教育総合研究所では、「今は学校に行くことがつらい」と感じている児童生徒のみなさんと、その保護者の方々を対象に、一人ひとりの状況に合わせた「7つの支援」を行っています。

① 7つの支援の概要

まず、「相談したい」「話を聞いてほしい」という場合、教育総合研究所(Tel.74-6666)へお気軽にご連絡ください。みなさんの状況を聞き、支援について相談、選択ができます。保護者のみのご相談や、臨床心理士・公認心理師による相談・検査も実施可能です。

令和7年度教育総合研究所の7つの不登校支援

◎今のみなさんの状況に応じてこんな支援をします

<p>今毎日登校するのはしんどいなあ…</p> <p>【1つ目の支援】 適応指導教室「ほほえみ教室」に通い、活動することができます ◎ほほえみ教室:学習館7階</p> <p>【2つ目の支援】 フリースペース型適応指導教室「とまり木教室」に通い、自分のペースで過ごすことができます ◎とまり木教室:学習館4階</p>	<p>今登校することがしんどいなあ…</p> <p>【3つ目の支援】 学習支援員がほほえみスタディサポート(HSS)をします ◎家庭訪問</p> <p>【4つ目の支援】 大学生がメンタルフレンド(MF)として家庭訪問します</p> <p>【5つ目の支援】 研究所相談員がみなさんの登校を支援します</p>	<p>今人と直接話すのがしんどいなあ…</p> <p>【6つ目の支援】 メタバース(仮想空間)でのコミュニケーションができます</p> <p>教育総合研究所のメタバース空間にアバターとして参加してもらい、その中で学習したり話したりすることができます</p> <p>◎参加方法は、研究所もしくは学校へお問い合わせください (教育総合研究所 TEL:74-6666)</p>
<p>【7つ目の支援】 民間のフリースクールとの連携を図り、通うみなさんのことを応援します</p>		

② 7つの支援の具体

<p>1 適応指導教室「ほほえみ教室」 (スイトピア学習館7階)</p> <p>学習・集団活動を通して自分のペースで体験活動ができます。学校に通える日もあるけれど毎日難しいお子さん向けです。</p> 	<p>2 フリースペース型適応指導教室「とまり木教室」 (スイトピア学習館4階)</p> <p>より自由度の高い空間で、自分のタイミングで入室し、ゆっくり過ごせます。</p> 	
<p>3 ほほえみスタディサポート(HSS)</p> <p>学習支援員が、週1~2回家庭訪問し、自宅で勉強をサポートします。</p> 	<p>4 メンタルフレンド(MF)</p> <p>大学生が家庭訪問し、一緒に遊んだり話したりして、人との交流の幅を広げます。</p> 	<p>5 登校支援</p> <p>研究所の相談員と一緒に話をしながら登校をサポートします。</p> 
<p>6 メタバース(オンライン上の仮想空間)</p> <p>アバターとして仮想空間に参加し、学習や交流ができます。対面が難しい段階でもつながりを保てる新しい支援です。</p> <p>オリジナルアバターを作ってチャットでお話できるよ</p> 	<p>7 民間フリースクールとの連携</p> <p>フリースクール通学中のお子さんも、研究所が見学・応援し、学校との連携を図ります。</p>	

まずご相談ください

<問い合わせ先>
教育総合研究所 学校支援センター(Tel. 74-6666)

研究所HPはこちらから →
支援の詳しいパンフレットをご覧ください。



部活動地域展開

文化系部活動の地域展開～新たに4クラブがスタートしています

大垣市では、持続可能な活動環境を整備するため、休日の部活動地域展開を進めています。運動系部活動に続き、文化系部活動についても、地域クラブとして4クラブがスタートしました。

令和7年度 11・12月実証事業実施団体 **新たに4クラブがスタートしています(運動系部活動も含め累計50クラブ)**

学校名(部活名)	地域クラブ名	学校名(部活名)	地域クラブ名
赤坂中(吹奏楽部)	赤坂吹奏楽クラブ	東中・星和中(合唱部)	大垣東コーラスクラブ
西部中(吹奏楽部)	大垣西部Jrウインドアンサンブル	東中(吹奏楽部)	大垣イーストウインドオーケストラ

休日の部活動地域展開について生徒の意見を聞きました

12月17日(水)に教育委員が赤坂中学校を訪問し、「休日の部活動地域展開」に関して、地域展開後に、地域クラブで活動している生徒の意見を聞きました。



<主な意見>

- 地域展開をして良かったこと**
 - 参加人数が増えて、活動が一層盛り上がるようになった。
 - 指導者が増えたことで、指導の幅が広がった。
 - 地域展開をして課題となっていること**
 - 他校と合同実施となったことにより、活動場所が遠くなる場合があり、送迎の問題で参加できないこともある。
 - 他校の生徒が地域クラブに加入するようになったとしたら、どうか。**
 - 人間関係の面で少し不安であるが、多様な視点や経験を共有でき、活動が活性化するため非常に良い。
 - 現在、約半数の生徒が部活動や地域クラブ活動に加入していないが、どう思うか。**
 - 学校生活とは異なる楽しみがあるため、良さを味わってほしい。
 - 問題が発生した際の相談窓口はあるか。**
 - 現時点では具体的な問題は発生していないが、顧問や指導者、保護者に相談する。
- 今後も、生徒の声を聞きながら、地域展開を推進してまいります。

初期指導教室について、意見交換を行いました

初期指導教室とは

大垣市立小・中・義務教育学校に在籍する、初来日等で日本語指導が必要な児童生徒に対し、在籍学校での学習や生活をできる限り円滑に開始できるよう、ひらがなやカタカナの読み・書き、生活に必要な言葉や身の回りの言葉、算数の基本的な内容等の学習や、生活適応指導等を行います。

教室は、週4日(月・水・木・金曜日)、静里小学校内に開設しており、教室に通う子どもたちは2~4か月間学習をします。

11月26日(水)に教育委員が静里小学校を訪問し、「初期指導教室」について指導員との意見交換を行いました。

教育委員からは、「年々対象児童生徒が増加しており、母国語の識字率や読み書き能力に差があるため、日本語指導にも更なる工夫が必要」や、「生活に必要な基本的な日本語に加え、安全に関する指導をしていくと良い」などの意見が出されました。

今後も、外国にルーツを持つ児童生徒への支援を含め、教育行政の充実に努めて参ります。

